

4月24日 株式会社ロロロ 代表取締役 花村創史氏

### 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ

本日はご講演いただき、誠にありがとうございました。

普段は経営者の視点からのお話を伺うことが多いため、今回はエンジニアの視点からの講演ということで、とても新鮮で興味深く感じました。特に印象に残っているのは、「プログラミングの知識がまったくなくてもよい」とエンジニアの方が話されていたことです。私は現在、時速80キロに達するレーシングカーを一から設計・製作する「学生フォーミュラ」という活動に取り組んでいます。その中で、近くにいるエンジニアのマネジメントを行っていることもあり、講演の内容には共感できる点が多く、学びが多くありました。これまでには、設計や技術を少しでも理解していないと、どれほどの労力がかかっているのか見えにくいと考え、自分も関わるようにしてきました。しかし、今回の講演を通して、「すべてを一から学ぶことが必ずしも有効ではない」という視点を得ることができ、新たな気づきとなりました。また、「技術負債」のお話や、エンジニアとの出会いの重要性について、自分のこれまでの経験と重なる部分が多く、活動の意義を改めて見つめ直す機会となりました。この経験が、今後社会に出たときにどのように活かせるのかを考えるきっかけにもなりました。

普段とは異なる切り口から、起業やキャリアについてのお話を伺うことができ、大変刺激的でした。改めて、本日は貴重なお話をありがとうございました。(経営学部2年)

今回、エンジニア目線からの企業経営について学ぶことができ、とても貴重な話を聞くことができました。経営者と技術者とのコミュニケーションの取り方や、どのように役割分担したらいいかなどとても参考になりました。経営者であったとしても、ある程度のプログラミングの知識などは持っていた方がより良い経営に向けて役に立つことがあり、かといっても経営者が深く専門外の知識を持つ必要はないことなど、エンジニア目線でしか分からないことについて多くの学びがありました。花村さんはエンジニアでありながらも、言われたその日にハワイを予約したり、何かを作りたいという一心の中3人で会社を始めたりと、並々ならぬ行動力や挑戦心を感じました。自分には、思ったことを行動に移せずに逃げてしまうことがあります。これからの大学生活において、これまでにしてこなかった挑戦を増やして、たくさん失敗して自分の糧として大きく成長していくと思います。

また、花村さんが働きながらも転職活動をしていたと聞きとても参考になりました。転職活動は、転職のために行うのに限らず、エンジニアの採用や自分の市場価値（社会的地位）を知ることにも役立つという固定観念にとらわれない新しい発想で、自分には絶対に思いつかないなと思いました。物事をいろんな視点で捉えることができる柔軟な発想が、

これから生きていくうえでとても重要であり役に立つということを改めて実感することができました。お忙しい中、講義を開いてくださりありがとうございました。刺激の多い有意義な時間を過ごすことができました。(経営学部1年)

エンジニア目線のお話が多く、情報工学を学んでいる身としてとても興味深かったです。技術選択のずれにより初期メンバーと別れてしまったことや、技術負債に悩まされたことなどエンジニアに特有の経験をいくつも話していただき、学生ながら共感できる部分もあってとても参考になりました。特に、会社の存続をかけて技術負債を恐れずスピード優先に仕事をなさっていたということを聞いて、エンジニアとしての狭い目線だけでなく経営者など多様な視点から優先事項を決めるることは大切だと思いました。また、転職や採用についてのお話から、自分が将来どんなエンジニアになりたいかさらに具体的なイメージをもつことができました。ジョブ型転職が比較的簡単なので気軽に挑戦できることはエンジニアの大きな強みだと思います。コミュニケーション能力と技術力を以って現場から問題解決に取り組める「自走できるエンジニア」を目指しつつ、知見を広げて様々なことに挑戦できるエンジニアになりたいです。また、経営者にとっての人との繋がりの大切さや、共同創設者だからこそ見えている代表の「巻き込み力」の強さなどを言葉の端々から感じました。花村さんは気づいたら巻き込まれていたとおっしゃっていましたが、それをできる人こそが新たな価値やビジネスを生み出せるのではないかと思いました。改めまして貴重なお話をありがとうございました。経営者に近くエンジニアでもあるということで学生の私では思いもよらないような視点を共有していただき大変興味深かったです。今回吸収したことを今後のキャリアに反映させていきたいです。(理工学部1年)